

## 取手駅西口駅前

# 「図書館を核とした複合公共施設」の整備を目指します！

取手駅西口A街区では、地権者の皆さんによる市街地再開発事業の検討が進められています。

市は、建設が予定されている再開発ビル内に、取手図書館を機能や規模を拡充して移設し、市民の皆さんが交流・活動できる機能を併せ持った複合公共施設として整備する方針を決定しました。この移設により、既存の取手図書館は廃止します。取手駅前に訪れる人を増やし、取手駅周辺の活性化、にぎわいの創出を目指します。

☎ 中心市街地整備課 ☎ 内線3017

◎再開発ビルは、A街区再開発区域内に建設が予定されている、約200戸のタワーマンション(住宅棟)と商業機能などを持つ5階建てビル(非住宅棟)の2棟からなる建物です。市は、非住宅棟の一部(4,000～4,500平方メートルを想定)を活用して複合公共施設を整備します。



### ■複合公共施設整備を目指す背景

取手駅周辺や公共施設の状況を整理した結果、以下のことが分かりました。

- 取手駅前には、生涯学習機能や市民交流、活動機能が現状不足している。
- 公共施設では、図書館や公民館の利用者が多い。
- 特に取手図書館は年間10万人以上の利用者がいる。その一方で、建物の老朽化(築45年)、バリアフリー化が不十分、駐車場不足、県内の近隣自治体の図書館と比べて床面積が狭く蔵書数が少ないといった課題がある。

そうした状況を踏まえ、交通アクセスに優れた利便性の高いA街区の再開発ビル内に図書館機能と市民交流・活動機能を併せ持った複合公共施設を整備することで、市民が集い、快適な時間を過ごせる場の創出を目指します。

### ■複合公共施設の5つの機能

複合公共施設のキャッチコピーは「あなたの居場所、私の居場所、取手駅前ライブラリーLibrary」としました。皆さんの居場所として、交流や学び、創造・発信の場となるような5つの機能の配置を予定しています。

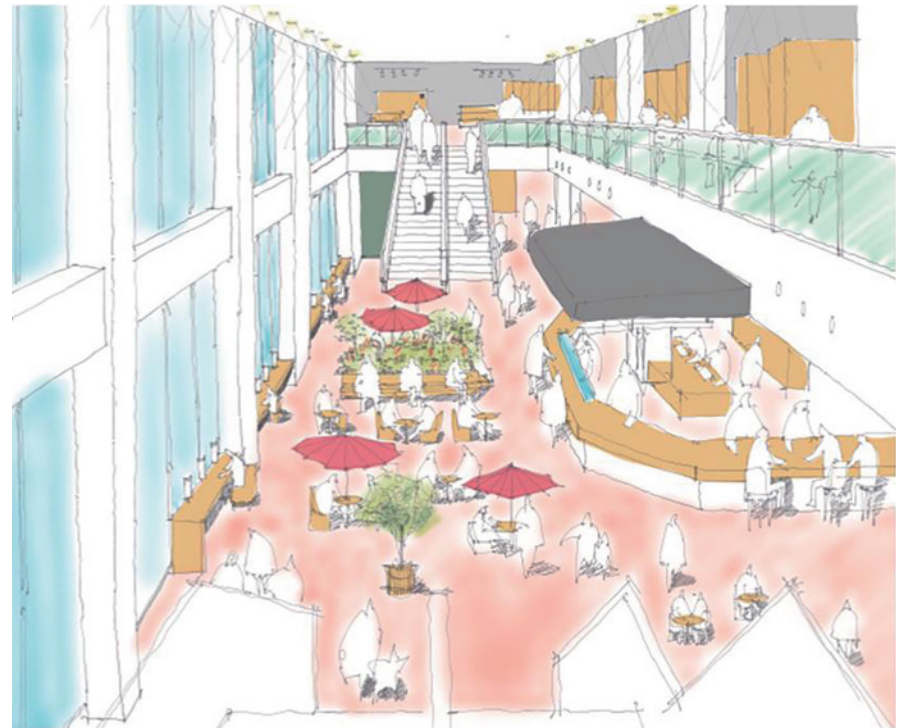
①取手駅前図書館	ゆとりのある快適な閲覧・学習スペースを多く確保した滞在型図書館
②カフェ・オープンテラス	来場者同士の交流の促進と集客性・滞留性の向上を図るためのカフェとオープンテラス
③窓口・オープンステージ(イベント空間)	貸室業務やイベントの企画などを行う窓口と、ミニ発表会などを行えるオープンステージ
④音楽スタジオ・会議室	音楽活動ができる防音のスタジオと、小・中規模のガラス張りの会議室
⑤多目的ラウンジ(フリースペース)	自由にレイアウト可能なテーブル・イスを配置した開放的で居心地の良いオープンスペース



取手駅西口A街区地区  
第一種市街地再開発事業の概要

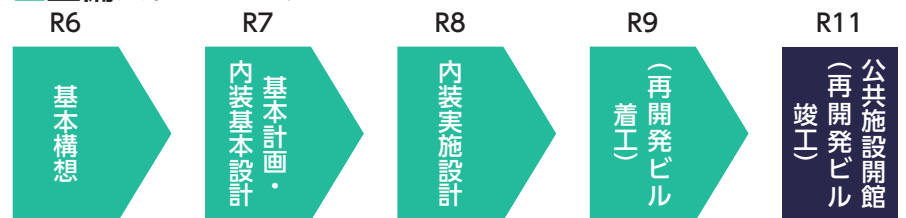


取手駅西口駅前に「図書館を核とした  
複合公共施設」の整備を目指します



複合公共施設のイメージパース(令和6年2月10日現在)  
※現時点のイメージであり、今後変更となる場合があります。

### ■整備スケジュール



( )は市街地再開発事業

※令和9年度から11年度に、再開発ビルの工事の進捗に合わせながら、11年度中の公共施設開館を目標に、検討を進めていきます。なお、スケジュールは変更となる場合があります。

### ■想定事業費

●事業費(再開発ビル床購入、内装設計・工事、備品購入)：総額40億円～45億円  
財源：国の補助金(最大50%)を活用

●施設管理・運営費：1億5,000万円～2億円/年  
運営：指定管理を想定

※事業費などは想定であり、今後の検討によって変更となる場合があります。

### 再開発準備組合から都市計画決定に向けた要望書が提出されました

2月22日、市街地再開発事業の検討を行っている取手駅西口A街区地区市街地再開発準備組合(宇田川俊明理事長)から「都市計画決定に向けた手続の開始及び今後の支援継続に関する要望書」が提出されました。

要望書の提出を受け、市は再開発に係る都市計画決定に向けた本格的な手続を開始します。

